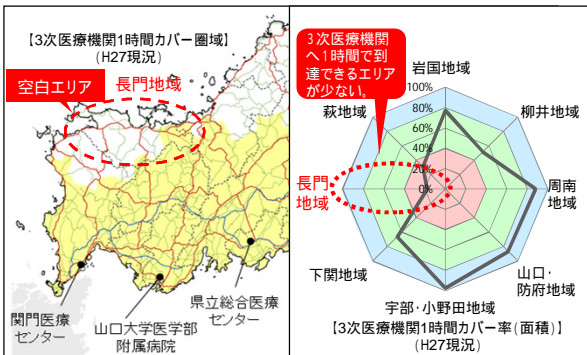


## 7 長門地域のみちづくりに関する現状と課題

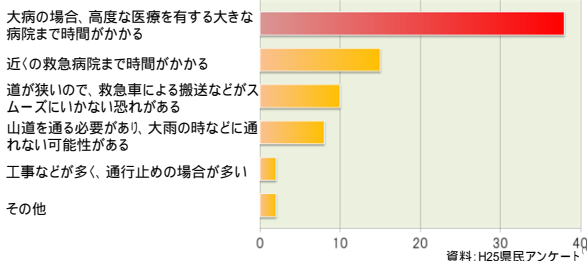
求められる主な取組

- ・幹線道路の整備による**物流等の迅速化・円滑化**
- ・観光地や広域交通拠点へのアクセス強化による**観光客の利便性の向上**
- ・歩道の整備等による**交通安全対策の推進**
- ・バイパス整備等による**緊急車両の迅速かつ円滑な通行の確保**
- ・災害時等にも機能する**広域道路ネットワークの構築**
- ・緊急輸送道路等の**橋梁の耐震補強**
- ・離島架橋をはじめとした**道路施設の計画的・効率的な修繕・更新等**

長門地域は、3次救急医療機関1時間圏の空白地帯となっており、住民の皆様からも不安の声をいただいております。救急医療活動を支援する道路の整備が求められています。



【急病時の救急病院への移動において、不安と感じる理由】

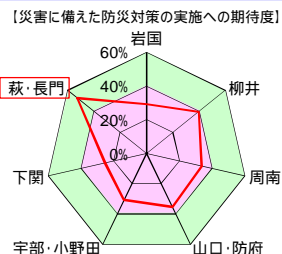


県内共通 災害に備えた防災対策

【災害に備えた防災対策の実施への期待度】

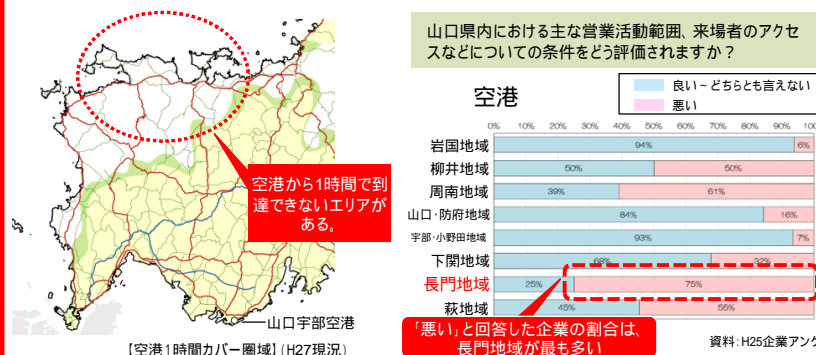
地区	避難所	避難経路	避難物資	避難場所	避難手段
萩・長門	20%	20%	20%	20%	20%
岩国	60%	60%	60%	60%	60%
柳井	40%	40%	40%	40%	40%
周南	20%	20%	20%	20%	20%
下関	0%	0%	0%	0%	0%

県政世論調査によると、萩・長門地域の方からは、「災害に備えた防災対策の実施(代替性の確保、土砂崩れ防止、橋梁の耐震化など)」が必要という回答が多く寄せられており、災害時にも機能する信頼性の高い道路網の構築が求められています。



資料：H27世論調査

長門地域の企業からは、高速道路や空港など、広域交通拠点とのアクセスが悪いという声を多数いただいています。



2020年春にリニューアルした長門湯温泉は、その歩きが楽しめる湯治場であり、旅館街の中心を流れる音信川(おとづれがわ)の両岸には星野リゾート「界 長門」、600年の歴史を持つ温泉「界 湯島(おんくま)」、空き家をリノベーションしたカフェなどがオープンしており、歴史と未来を感じる温泉街となっています。

また、地域内には元乃隅神社をはじめ数多くの観光スポットがあり、県内外から多くの観光客が訪れていますが、更なる交流の拡大を図るためには、広域交通拠点へのアクセシビリティの向上が求められます。



## 道路施設の老朽化

道路施設の老朽化は、利用者の安全性の確保に支障となるだけでなく、ネットワークの寸断等により社会経済活動の停滞をもたらす恐れがあります。

このため、唯一の陸上交通手段である青海大橋や都市間連携に寄与している大ヶ迫トンネルなどの適切な対策が必要です。



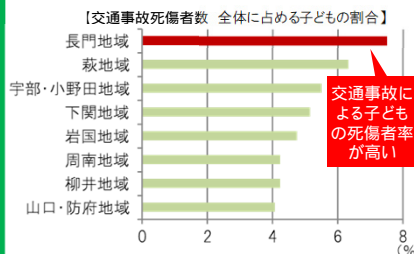
県内共通 **大規模地震時の耐震性**

大規模地震時の緊急輸送路を確保するためには、緊急輸送道路上の橋梁や離島架橋等の耐震補強を推進する必要があります。

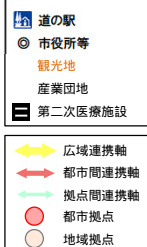


県内共通 子どもの交通事故死傷者割合

交通事故死者数のうち、子どもの占める割合が最も高い地域となっており、子どもを交通事故から守る取組が必要です。



資料・交通統計 令和元年(山口県警察本部)



## 物流等の迅速化・円滑化

仙崎漁港は下関漁港、萩漁港に次ぐ県内第三位の水揚げ高を誇る大規模な漁港となっています。

イカ、アジなどの近海魚の魚介類やウニ・アワビなどを主に取引扱い、関西・九州方面に出荷されています。特にケンサキイカについては近年「仙崎イカ」のブランド名が付けられ、流通価値が高まりつつあります。

また、水揚げされる漁獲物を原材料とする水産加工業が盛んで、特に近海の白身魚(エソなど)を用いたかまぼこは「仙崎かまぼこ」として広く名声を博しています。

この迅速な水産業をはじめとした産業振興を促進するためには、物流等の一層の迅速化・円滑化を図る必要があります。



【厚道青海島線】

## 2 主な整備箇所(地域版)

### 7 長門地域のみちづくり

#### 整備が求められる主な路線

##### 産業・地域を「支える」

- 物流等の迅速化・円滑化
- 観光客の利便性の向上
- 交流・連携の強化

7-a 山陰道

7-b 県道長門油谷線

等

##### 人々のいのちを「守る」

- 生活道路等における交通安全対策の推進
- 救急車両の迅速かつ円滑な通行の確保
- 救急医療施設への搬送時間の短縮

7-c 県道長門三隅線

7-d 国道191号

等

##### 災害に「備える」

- 広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備
- 防災・減災対策の推進
- 橋梁の耐震補強

7-e 県道青海島線

7-f 県道下関長門線

等

##### 未来に「つなぐ」

- 老朽化した道路施設の計画的な修繕・更新等
- 日常的な維持管理の充実・効率化
- 異常気象時等の対応

国道316号

県道下関長門線

等

- ↩ バイパス
- ↔ 現道拡幅
- 歩 自歩道整備
- 歩 歩道整備
- ✚ 交差点改良
- の のり面对策
- 耐 耐震化
- 無 無電柱化
- 長 長寿命化
- SIC スマートインターチェンジ

道の駅  
市役所等

#### 主な整備中箇所

No.	路線名 (工区名等)	内容	道路整備 目標	4つの方針			
				支 え る	守 る	備 え る	つ な ぐ
7-1	山陰道 (俄山・豊田道路)	バイパス	事業継続				
7-2	県道長門油谷線 (西津黄)	現道拡幅	事業継続				
7-3	県道美祿油谷線 (砂利ヶ峠)	バイパス	完成 (R3)				
7-4	県道長門秋芳線 (大河内)	バイパス	事業継続				
7-5	県道長門秋芳線 (坂水)	現道拡幅	完成 (R7)				
7-6	県道油谷港線 (久津)	現道拡幅	部分完成 (R5)				
7-7	県道下関長門線 (俄山)	のり面对策	事業継続				
7-8	県道青海島線 (青海大橋(上り線))	耐震化	事業継続				
7-9	県道仙崎停車場小浜線 (小浜跨線橋)	耐震化	事業継続				
7-10	国道316号 (大ヶ峠トンネル)	長寿命化	事業継続				
7-11	県道下関長門線 (湯本大橋)	長寿命化	事業継続				
7-12	県道青海島線 (青海大橋(下り線))	長寿命化	事業継続				
7-13	山陰道 (三隅・長門道路)	バイパス	事業継続				
7-14	国道491号 (俄山)	バイパス	事業継続				





## 2 主な整備箇所(地域版)

### 7 長門地域の主な整備中箇所

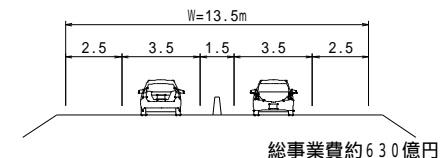
#### 7-1 491 山陰道(俵山・豊田道路)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	バイパス
延 長	L = 13.9km
幅 員	W = 12.0 ~ 13.5m
着 手 年 度	平成28年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 地域の産業・観光振興の支援や、安心・安全を確保するため、交流人口の拡大や、物流の効率化等に資するとともに、災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築を図ります。
- ◆ 第3次救急医療機関(下関市・宇部市)への速達性、確実性を確保します。



#### 7-3 38 県道美祢油谷線(砂利ヶ峠)

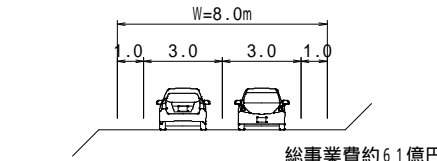
支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	バイパス
延 長	L = 2.0km
幅 員	W = 8.0m
着 手 年 度	平成24年度

R3 完成

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 山陰道へのアクセス性が向上します。
- ◆ 北浦地域を周遊する観光ルートを整備し、観光振興を図ります。



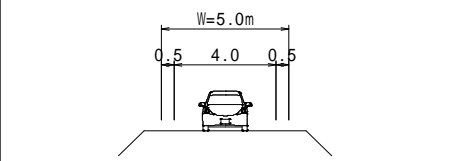
#### 7-2 66 県道長門油谷線(西津黄)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	現道拡幅
延 長	L = 0.3km
幅 員	W = 5.0m
着 手 年 度	平成28年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所や見通しの悪い箇所を解消します。



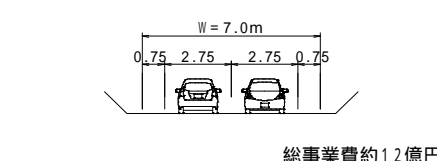
#### 7-4 280 県道長門秋芳線(大河内)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	バイパス
延 長	L = 5.0km
幅 員	W = 7.0m
着 手 年 度	平成6年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 長門市街地へのアクセス性を向上します。



## 2 主な整備箇所(地域版)

### 7 長門地域の主な整備中箇所

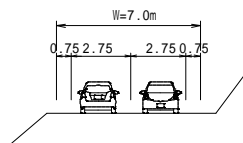
#### 7-5 280 県道長門秋芳線(坂水)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	現道拡幅
延 長	L = 0.9 km
幅 員	W = 7.0 m
着手年度	平成6年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所や見通しの悪い箇所を解消します。



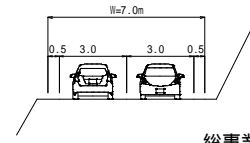
#### 7-7 34 県道下関長門線(俵山)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	のり面対策
延 長	L = 0.2 km
幅 員	W = 7.0 m
着手年度	平成25年度

【標準断面図】



総事業費約3億円



##### 目的(効果)

- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。



#### 7-6 357 県道油谷港線(久津)

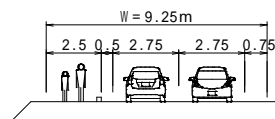
支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	現道拡幅
延 長	L = 0.7 km
幅 員	W = 9.25 m
着手年度	平成26年度

**R5 部分完成**

【標準断面図】



総事業費約5億円



##### 目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 国道191号へのアクセス性を向上します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。



部分完成区間



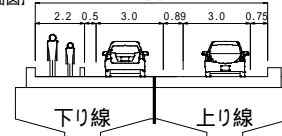
#### 7-8 283 県道青海島線(青海大橋(上り線))

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	耐震化
延 長	L = 0.3 km
幅 員	W = 10.34 m
着手年度	平成27年度

【標準断面図】



総事業費約4億円



##### 目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



## 2 主な整備箇所(地域版)

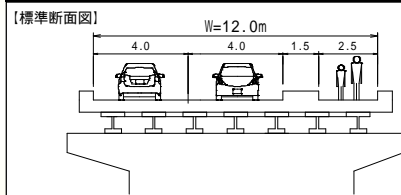
### 7 長門地域の主な整備中箇所

#### 7-9 282 県道仙崎停車場小浜線(小浜跨線橋)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	耐震化
延 長	L = 0.05km
幅 員	W = 12.0m
着 手 年 度	平成27年度



##### 目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

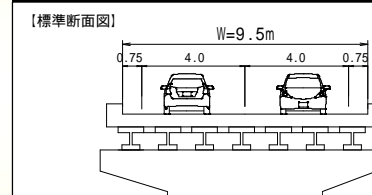


#### 7-11 34 県道下関長門線(湯本大橋)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	長寿命化
延 長	L = 0.1km
幅 員	W = 9.5m
着 手 年 度	平成25年度



##### 目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

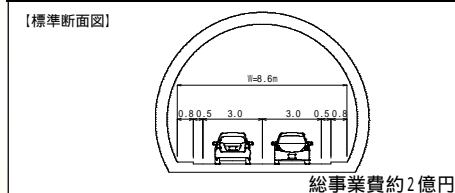


#### 7-10 316 国道316号(大ヶ峠トンネル)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	長寿命化
延 長	L = 1.1km
幅 員	W = 8.6m
着 手 年 度	平成26年度



##### 目的(効果)

- ◆ トンネルの定期点検結果を踏まえ、健全度が低下する前に補修や補強等の適切な措置を実施し、施設の長寿命化を図ります。

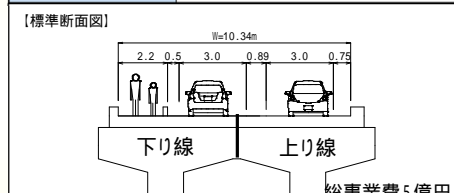


#### 7-12 283 県道青海島線(青海大橋(下り線))

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	長寿命化
延 長	L = 0.3km
幅 員	W = 10.34m
着 手 年 度	令和2年度



##### 目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。





## 2 主な整備箇所(地域版)

### 7 長門地域の主な整備中箇所

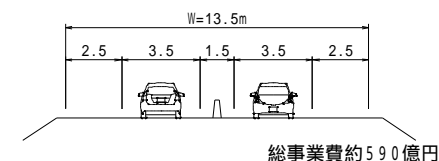
#### 7-13 山陰道(三隅・長門道路)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	バイパス
延 長	L = 10.0 km
幅 員	W = 12.0 ~ 13.5 m
着 手 年 度	令和5年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 地域の産業・観光振興の支援や、安心・安全を確保するため、交流人口の拡大や、物流の効率化等に資するとともに、災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築を図ります。
- ◆ 第3次救急医療機関(下関市・宇部市)への速達性、確実性を確保します。

金子みずの記念館



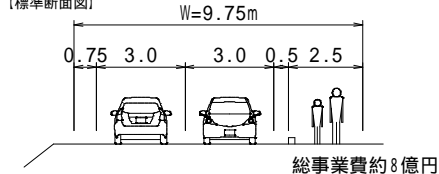
#### 7-14 国道491号(俵山)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	バイパス
延 長	L = 0.4 km
幅 員	W = 9.75 m
着 手 年 度	令和6年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 山陰道や「俵山地区小さな拠点」へのアクセス道路として機能し、地域間の連絡強化や地域の活性化を図ります。
- ◆ 安全で円滑な交通を確保し、地域住民の利便性向上を図ります。
- ◆ 災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

